

平成 30 年版

消防年報



大磯町消防本部

ま え が き

この消防年報は、大磯町の消防現勢と平成30年中の消防業務の実態等について紹介するものです。

統計資料は主として平成31年4月1日現在で記載していますが、火災・救急・気象・その他一部の統計資料につきましては、暦年によって記載しました。

本書が、本町消防行政について、ご理解をいただくために少しでもお役にたてれば幸いです。

令和元年 9 月

大磯町消防本部

災害動向（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

●火災発生状況

火災発生件数は15件で、前年より2件多くなっています。火災の種別では、「建物火災」5件、「その他の火災」10件となっており、「建物火災」の件数は、前年より1件減少しています。建物の焼損面積は235㎡で、前年より253㎡の減少となっています。出火原因は「放火、放火の疑い」によるものが8件、それ以外が7件となっています。なお、火災により亡くなられた方は2名です。

●緊急通報（119番着信）

119番の着信件数は1,873件（うち66件は「試験・訓練」）で前年より414件の減少となっています。通報の内訳は、「救急」1,228件、「火災」は21件でした。「問い合わせ」は123件、「間違い」や「いたずら」は48件でした。

●気象状況

年間の降雨量は1,137mmで、前年に比べ74.5mm少なくなっています。1ヶ月の降雨量が200mmを越えた月は3月で、その月の降雨量は258.5mmでした。

気象警報の発表状況は、「大雨警報」4件（前年より5件減少）、「洪水警報」3件（前年と同数）、「波浪警報」5件（前年より1件増加）、「暴風警報」2件（前年と同数）となっています。

●救急活動

救急活動の出場件数は1,693件で、前年に比べ98件の増加となっています。搬送人員は1,609人で95人の増加となり、事故種別では、「急病」1,159件、「一般負傷」275件、「交通事故」107件、それ以外の出動件数は152件でした。

年齢別では、65歳以上の高齢者の搬送人員が1,073人（66.7%）と最も多く、前年より79人の増加となっています。また、傷病の程度では、重症の搬送人員は93人（6%）で59人減少し、中等症は766人（47.6%）で2人の減少となっており、軽症の搬送人員は720人（44.7%）で前年より155人の増加となり最も増えている状況です。

●救助活動

救助活動の出場件数は10件で、前年と比べ3件の減少となっています。事故種別では、「交通事故」2件、「機械」1件、「水難事故」5件、それ以外の事故件数は2件となっており、救助人員は9人で前年に比べ3人の増加でした。

●救急支援活動

救急支援活動の出場件数は301件で、前年と比べ22件の増加となっています。支援種別では、「その他（救急隊の活動を円滑に行なうための出動等）」が223件と最も多く、以下「搬出困難」、「交通事故」、「ヘリポート確認」の順となっています。

大磯町町民憲章

わたくしたちは、高麗、鷹取の山なみや、こゆるぎの浜に象徴される美しい自然と由緒ある歴史、文化に恵まれた大磯の地を愛し、誇りとし、さらに住みよいまちづくりを目ざして、ここに町民憲章を定めます。

- 1 恵まれた自然と伝統を守り、文化の向上に努め、豊かなまちにしましょう。
- 1 公德心と心のふれあいをたかめ、世界に誇れる美しいまちにしましょう。
- 1 心とからだをきたえ、健康で働くことを喜びあえる明るいまちにしましょう。

(昭和56年1月1日制定)

● 町の鳥

「かもめ」は、昭和59年12月に町のイメージにふさわしい鳥として制定されました。

「アオバト」は平成22年11月に町の鳥として新たに制定されました。群をなして照ヶ崎海岸の岩礁に海水を求め飛来しています。



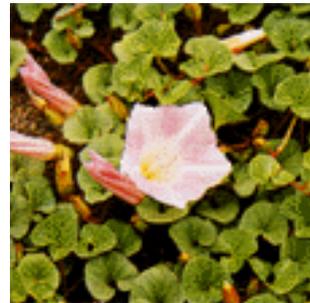
△かもめ



△アオバト

● 町の花

「はまひるがお」は、平成10年2月に大磯町のなぎさのイメージにふさわしい花として制定されました。径4～5センチの薄紅色の花は、漏斗状で筒が太く、海岸の砂浜に生える、つる性の多年草です。



△はまひるがお

● 町の木

豊かな自然に恵まれた大磯にもっともふさわしい町の木は、昭和50年4月に町民の公募で決定され、高い木ではまつ科の「くろまつ」、低い木ではつばき科の「さざんか」が選ばれました。



△くろまつ



△さざんか

凡 例

- 1 本書は、大磯町の消防現勢と平成30年中の消防活動のあらましを収録したものです。
- 2 各表の年次については、右上欄外に明記してありますが、記載のないものは平成30年中の数値です。
- 3 数字の単位未満は、四捨五入を原則としました。そのため、合計数と内訳が一致しない場合があります。
- 4 統計表中の符号の用法は次のとおりです。
 - 「0」……単位未満
 - 「…」……不詳

※ 欄内が空白の部分は、皆無または該当数字なしとなっています。

— 目 次 —

大磯町の地勢	1
面積・人口・世帯数	2
[消 防 の 概 要]	
大磯町消防のあゆみ	3~10
歴代消防長・消防団長	11
消防庁舎の現況	12
消防機構図	13
消防本部・署事務分掌	14, 15
消防本部・署の現勢	16
常備消防力の基準と現有消防力の比較	17
消防配置図	18
消防本部・署現有車両機械状況	19
機械器具等	20
消防水利状況	21
町内消火栓管区図	22
[総 務]	
主要行事	23
消防予算額	24
町総予算（一般会計）と消防予算との比較	24
消防費と世帯・人口比	24
消防職員定員・実員・年齢	25
[火 災 ・ 通 信 ・ 気 象]	
月別火災発生状況	26
原因別火災状況	27
地区別出火状況	28
専用電話(119番)月別着信状況	29
現有無線局状況	30
気象状況・気温と湿度	31
気象通報受信状況	32
[救 急 ・ 救 助]	
救急活動状況	33
地区別救急出場件数	34
時間別救急出場件数	35
曜日別救急出場件数	35
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	36
収容病院別搬送人員	37

事故種別応急処置回数	38
月別救急支援活動件数	39
月別救助活動件数	40
[予 防]	
防火対象物状況	41
防火管理者届出及び消防計画届出状況	42
火災予防関係届出状況	43
建築物消防同意状況	44
用途地域別建築物消防同意	45
中高層建築物状況	46
危険物関係届出状況	47
危険物施設状況	48
指定数量別危険物製造所等の状況	49
地区別危険物施設及び貯蔵・取扱数量	50
[消 防 団]	
消防団の現勢	51
消防団の現況	51
消防団分団別受持区域図	52
消防団分団別受持区域表	53
各分団所在地	54
消防団員階級別年齢	55
職業別消防団員数	56
消防団員在職年数	56
消防団員報酬額	56
消防団員費用弁償額	56
消防団現有車両機械状況	57
[その他 統計]	
防災訓練実施状況	58
各講習会実施状況	58
救命講習会等実施状況	59
参考資料	60

大磯町の地勢

大磯町は、神奈川県中央南部（東経 139° 18' ，北緯 35° 18' ）に位置しています。南は相模湾、北は高麗山や鷹取山をはじめとした大磯地塊の丘陵地帯で、北と東は平塚市、西は二宮町と境を接しています。東西約 7.6 km、南北約 4.1km のやや東西に長い形をしており、面積は 17.23 k m² で、市街地は国道 1 号沿いの平坦部に形成されています。まちの 65% を丘陵部が占め、気候は海岸沿いに流れる暖流の影響で温暖です。

※ 緯度、経度は大磯町役場の位置



人口・世帯数

(平成31年4月1日現在)

字名	世帯数	人口		
		総数	男	女
高麗	1,028	2,541	1,279	1,262
高麗一丁目	323	896	460	436
高麗二丁目	555	1,313	653	660
高麗三丁目	150	332	166	166
東町	689	1,770	884	886
東町一丁目	247	614	316	298
東町二丁目	133	372	190	182
東町三丁目	309	784	378	406
大磯	2,558	6,074	2,977	3,097
東小磯	1,262	3,063	1,481	1,582
西小磯	1,618	4,139	1,992	2,147
国府本郷	2,026	5,177	2,533	2,644
国府新宿	1,245	3,226	1,549	1,677
生沢	860	2,009	1,018	991
寺坂	114	295	151	144
虫窪	91	368	170	198
黒岩	77	180	84	96
西久保	55	135	68	67
石神台	703	1,634	772	862
石神台一丁目	250	583	277	306
石神台二丁目	199	475	222	253
石神台三丁目	254	576	273	303
月京	291	727	340	387
町内全地区合計	12,617	31,338	15,298	16,040

参考	総面積 17.232km ²	1km ² あたりの	
		世帯数	人口(人)
		732	1,819